

資料 1

「かつてじんじゃ しんじおどり勝手神社の神事踊」(伊賀市)

伊賀市山畑の勝手神社の秋祭の日に行われる芸能で、胸にカッコと呼ばれる桶胴太鼓(おけどうだいこ)を付けた「中踊り(なかおどり)」、歌を歌う「歌出し」、大太鼓を打つ「楽打ち(がくうち)」等、計20数名の人数と構成を要する踊りです。伊賀地域を代表する整った形式をもつ美しい踊りで、風流踊として地域的特色の顕著なものです。

保護団体は勝手神社神事踊保存会で、平成30(2018)年3月8日、国重要無形民俗文化財に指定されました。その後、令和4(2022)年11月30日に、この「勝手神社の神事踊」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

令和5年は10月8日(日)に開催予定です。

